



# 校報大新

盛岡市立大新小学校  
校報 第8号  
令和7年8月29日  
文責 校長 木内隆友

## よろしくお願いします！教育実習の先生方

8月25日（月）から、教育実習が始まりました。本校には盛岡大学文学部から2名、東北福祉大学教育学部から1名（3名とも3年生）の教育実習生（教生）が配属になりました。配属学級の子どもたちはもちろん、他の学年・学級の子どもたちも大喜びです。業間や昼休みは、子どもたちと手をつなぎ、笑顔で鬼ごっこなどをして遊んでいる様子が見られます。また、指導教官の授業を食い入るように見て、真剣に記録をとる姿も大変すばらしいです。

はたけやま あいか  
畑山 愛佳 先生

【配属】1年1組 菊池学級  
【大学】盛岡大学

食べること、運動すること、お話しすることも大好きです。子どもたちとたくさん遊んで一緒に笑い楽しく学び、成長できるように頑張ります！よろしくお願いします。



ふなみず あらた  
船水 新太 先生

【配属】2年1組 梁田学級  
【大学】東北福祉大学

子どもたちの元気な姿に学びながら一緒に成長できるようにがんばります！よろしくお願いいたします！

私は大新小学校の卒業生です！



さとう しゅんと  
佐藤 舜斗 先生

【配属】4年1組 小野寺学級  
【大学】盛岡大学

先生方や子どもたちと誠実に接しながら休み時間はたくさん遊び授業参観や実践を通して自分を磨きたいです。教員としての資質を高めていけるようにがんばります！



指導教官の指導のもと、これから教生の先生方は授業を行います。ここで、授業の難しさ、奥深さ等を痛感していくはずですが、また、日々子どもたちとのふれ合いをとおして児童理解の難しさについても肌で感じていくと思います。時には授業がうまく進められず、涙することがあるかもしれません。また自分の思いが子どもに伝わらず、苦しむこともあるかもしれません。しかし、そんな時、子どもたちの真剣なまなざしや輝く笑顔、明るい一言などにきっと救われることでしょう。

この教育実習という一生に一度しかない経験をとおして、教師という仕事を「いい仕事だな」と思ってもらえれば嬉しいです。そして9月22日（月）は子どもたちと素敵なお別れをしてもらいたいと思います。教生の先生方、よろしくお願いします。そして頑張れ！

## 「マルトリートメント」という言葉 ご存じですか？

夏休みに子育てにかかわるある本（ある精神科医の著書）を読みました。保護者の皆様にも参考になる部分があると思い、一部分を抜粋してお伝えいたします。

虐待やネグレクトに限らず、「子どもへの避けたいかわり」を指す総称のこと。筆者は「マルトリートメントを経験すると、心の傷（トラウマ）が生じ、認知の障害（IQ低下）、健康に害を及ぼす行動（薬物やアルコール依存）や様々な疾病リスクが高まり、最終的には早世につながる可能性がある。」と述べています。またマルトリが脳の様々な部分を変形させ子どもの認知面、行動面、コミュニケーションなどに大きな影響を及ぼすとも書かれています。ただし、適切な治療があれば、傷ついた脳は回復でき、そのケアに必要なのは子どもの「安心」と「安全」を確保することだそうです。

### （1）こんな行為は心理的マルトリートメントにあたる

- 子どもの苦手なことが気になり、「何をやってもダメ」と言ってしまう。□子どもの前で激しい夫婦喧嘩
- 子どもに対して夫（妻）への文句を話したり、言わせたりする。
- 子どもを兄弟と比較して、批判・叱責する。□子どもに兄弟や祖父母等に対する暴言を聞かせる。
- 子どもが失敗した際に責めたり、失敗した理由を問い詰めたりする。
- 子どもの持ち物を一方的に取り上げたり、壊したりする。 など

### （2）スマホをいじっている時、子どもに話しかけられたら？

- 操作し続けながら、耳だけで聞き流す（話の内容を理解していたとしても）  
→子どもは「自分を大切にしてくれていない」と寂しく思うだろう。大人同士の会話でも、相手がスマホをいじりながら返事したら悲しくなる、それと同じ。
- 安定した愛着を形成するためには「目と目を合わせること」「笑顔をむけること」「スキンシップをとること」の3つが重要な要素

### （3）ゲームの約束は「ポイントカードを作る」ことがおすすめ

- ①約束を決め、守ることができたら、努力賞1ポイントをあげる。
- ②10ポイントたまったら、ご褒美をあげる。

- ・週末のゲーム時間1時間プラス ・家族でボードゲームやトランプをする時間を作る。
- ・家族で外食をする。など ※現金は×

こうすることで、子どもは楽しみながら、ルールを守ることができるようになる。また親は「いいかげんにしなさい！」と怒りを爆発しなくても済むようになる

### （4）筆者が親に伝えたいこと

自分の子どもが良い学校に入って、立派に成長し、一人前になることは確かに嬉しいですね。でも健やかな成長以上のことを期待してはいけません。ここまで育てたんだからと見返りを求めたり、成果を期待したりすることは避けましょう。子どもは3歳までに十分な親孝行をしているんですから。「ママ、ママ」と言って追いかけてきたり、ちょっと親の姿が見えなかったら泣いたりする。もう、それで十分、そういう瞬間こそが親孝行なんですよ。子どもの笑顔に幸せな気持ちになったり、寝顔に癒されたりしたことがあるでしょう。それがすでに素晴らしい贈り物なのですよ。今は大変な時期が多いかもしれませんが、子育てには必ず終わりが来ます。その限られた時間を楽しむ気持ちで向き合ってくださいね。

親ですからイライラしたり、時には大きな声をだして子どもをしかったりもしてしまいます。でも「マルトリートメントを知らない、自分に関係ない」と目をつぶり、子どもの脳と心をきずつけることはあってはならないのだと思います。よりよい子育てでお悩みの時はいつでも学校にご相談ください。